

目標

話し言葉やコミュニケーションに何らかの心配があるために、学習や社会生活の面で、本来の力を十分に発揮できない幼児や児童に対して、その状態を改善するよう指導支援する。

対象の幼児・児童

- 1 正しい発音で話せない（構音）
- 2 話すときにつかえたり、音を繰り返したりする（吃音）
- 3 対人関係に不安があり、言葉を表出できない（選択性かん黙・集団不適応）
- 4 言葉の発達が遅い（話せる言葉が少ない・言葉が繋がらない）

支援の方法・内容

- 1 <意欲> 遊びや生活単元学習なども取り入れ、楽しい雰囲気づくりに努め、話をしたいという意欲を高める。
- 2 <聞く力> 正しい発音を聞く練習をする。また、正確に言葉を聞き取ったり、聞き分けたりできるようにする。
- 3 <発音練習> 正しい口形で発音し、舌や唇の動きをなめらかにする。
- 4 <言葉の力> 一人一人の実態に合わせて、いろいろな言葉を覚えたり、楽しく話したりすることにより正しい発音で会話ができるようにする。

運営の方針

- 1 利用対象児は、市内に在住している保育園・幼稚園の年少児以上の幼児と小学校児童とし、保護者の付添いを必要とする。
- 2 指導時間は幼児・児童ともに45分とする。実態に応じて週に1回～月数回指導する。
- 3 ひとりひとりに応じた個別の計画のもとに、気持ちをほぐしながら発語を促し、いろいろな発音の聞き取りや発声、発音の練習を行う。
- 4 個別指導を基本とするが、グループ指導を行うこともある。
- 5 よりよい社会生活を送れるように理解と協力を得るため、保育園・幼稚園・学校との連携に努める。
- 6 家庭との連携を図り、個別懇談をしたり、保護者研修会を開催したりして、言葉の発達についての理解を深める。
- 7 言語に関する教育相談は、適宜行い、今後の指導について、保護者と共に考えていく。
- 8 相談料・指導料は無料。

活動の様子

子供の实態に合わせた個別指導

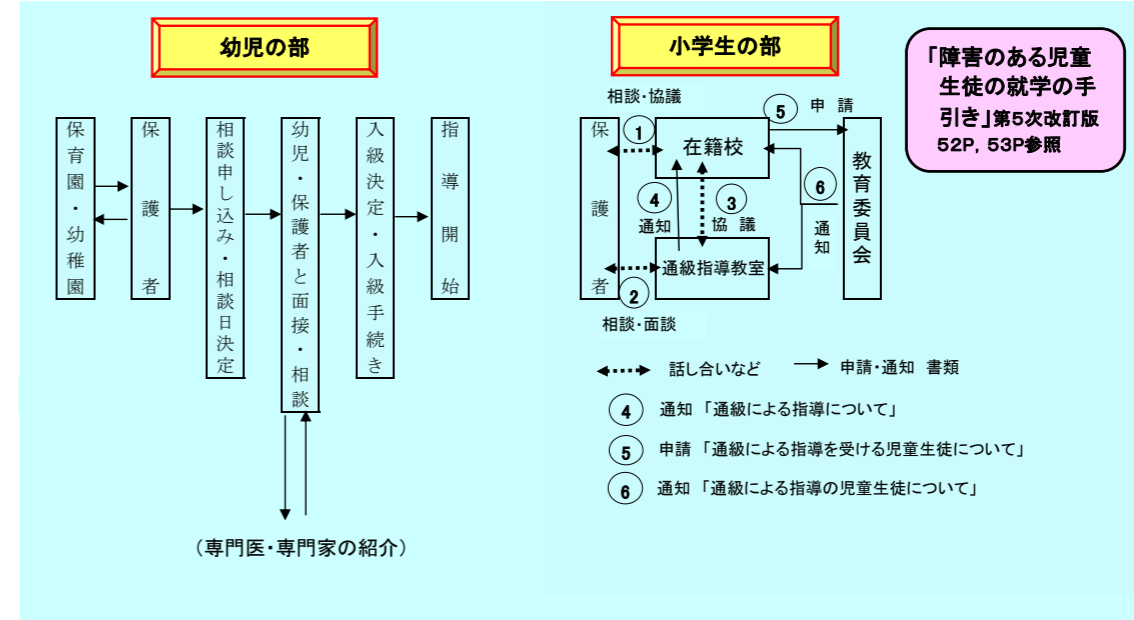
遊びを取り入れて話す意欲を高める

保護者と一緒に退級を祝う

学習室

プレイルーム

入級に至るまでの流れ

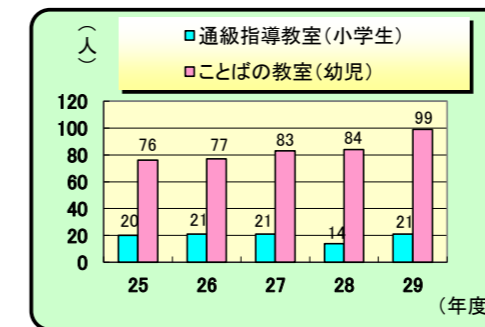


在籍人数（平成30年4月1日現在）

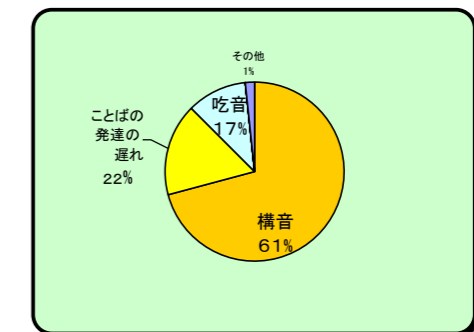
ことばの教室	18人	通級指導教室	14人
--------	-----	--------	-----

利用者の実態

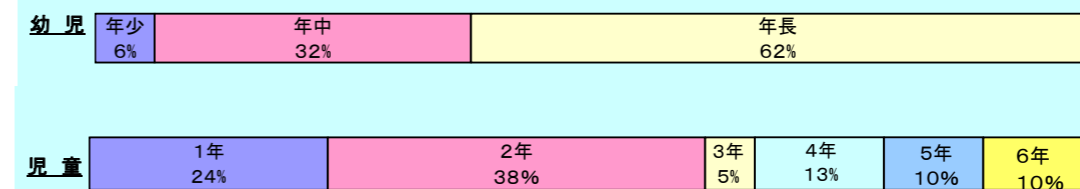
(1) 通級児童・幼児の利用者数の推移



(2) 実態別による内訳（平成29年度）



(3) 年齢別による内訳（平成29年度）



職員

学級長	向井 康之
通級指導教室（児童担当）	松本 容子
ことばの教室（幼児担当）	河原 明美 山本 敬子